

要請番号 (JL55118B04)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ザンビア	A101 コミュニティ開発		グループ型	交替3代目	2年	・ 2019/1 ・ 2019/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

農業省

2) 配属機関名 (日本語)

ルウィング郡農業事務所

3) 任地 (北部州ルウィング郡ルウィング) JICA事務所の所在地 (ルサカ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 14.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は郡内の農業生産性向上や小規模農家の収入向上のための支援を行っている。郡内は16地域に分かれており、それぞれの地域に1名の農業普及員が配置され、対象農家を巡回訪問・指導している。同郡は雨量が多いためコメ生産のポテンシャルが高く、JICAが実施中のコメ普及支援プロジェクトの対象地域となっており、配属先の農業普及員のうち2名は同プロジェクトの研修を受講済みである。また同郡は「小規模農民のための灌漑開発プロジェクト」(2017年6月終了)の対象地域でもあった。現在配属先ではJV2名(2016年度4次隊、コミュニティ開発1名、2017年度2次隊、野菜栽培1名)が活動中である。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

ザンビアでは、国民の大半は農業で生計を立てており、メイズ(トウモロコシ)を主体とした自給自足の生活を営んでいるが、食糧安全保障や高付加価値作物による収入創出の観点からも、メイズに依存した農業からの脱却が課題となっている。また、近年の経済成長で食生活が変化し、コメの需要が急速に増加していること、同国には南部アフリカの約4割の表流水資源が存在し、コメ生産の高いポテンシャルを持っていることから、農業省は現在稲作振興に注力している。2代目のJVは日本人専門家の技術支援を受けつつ、ワークショップの開催や農家への巡回指導を実施し、稲作普及のため活動している。当該JVはきのこ栽培にも取り組んでおり、今後は乾燥きのこ・乾燥野菜やジャムなどの食品加工に関する活動も予定している。配属先は稲作による収入創出と2代目JVの活動の継続、農作物やその加工品の販路拡大のため、引き続きサポートを必要としている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- フィールドワークによって農民の家族構成、生活状況、経済状況などを把握する。
 - デモ圃場の整備、ワークショップの開催、農家への巡回指導を実施し、稲作による収入創出に貢献する。
 - コメや2代目JVが普及してきた農作物・加工品の販路拡大のため、市場調査を実施する。
 - 対象地域の新たな需要を探り、その結果をもとに収入向上に繋がる活動を行う。(新規作物導入、作物保存方法改良、小規模灌漑導入やSHEPアプローチの普及など)
- ※日本人専門家(稲作/灌漑)から協力を得られるため、応募時に稲作や灌漑に関する専門知識を有している必要はない。SHEPとは「Smallholder Horticulture Empowerment Project(小規模園芸農民プロジェクト)」の略。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

特になし

4) 配属先同僚及び活動対象者

郡農業調整官 男性1名 大学院卒40代

主任農業官 男性1名 大卒50代
各部門職員 男女9名 短大卒30-50代
現地普及員 男女16名 短大卒20-50代

対象地域の農民

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[学歴]：（ ） 備考：

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（ ） 備考：

[参考情報]：

- ・ 農業や農村開発に関する知識や経験

任地での乗物利用の必要性

単車(小型自動二輪免許が必要)

【地域概況】

[気候]：（サバナ気候） 気温：（5～35℃位）

[電気]：（不安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水道]：（不安定）

【特記事項】

生活使用言語はベンバ語。赴任後現地語学訓練実施。活動には農作業を伴う。